

水産海洋学会地域研究集会

第3回三陸海域の水産業と海洋研究集会 三陸海域の養殖業における震災復興と未来

共 催：一般社団法人水産海洋学会，岩手大学三陸水産研究センター，宮城県水産技術総合センター，岩手県水産技術センター，水産研究・教育機構東北水産研究所

後 援：宮城県漁業協同組合気仙沼総合支所，気仙沼漁業協同組合，いわて海洋研究コンソーシアム

日 時：2016年12月13日（火） 10:30～16:45

場 所：気仙沼魚市場会議場

コンビナー：後藤友明（岩手大三陸水研セ），神山孝史（水産機構東北水研），西洞孝広（岩手水技セ），押野明夫（気仙沼水試），渡邊一仁（気仙沼振興）

1. 挨拶： 和田時夫（一般社団法人水産海洋学会会長） 10：30～10：35
2. 趣旨説明：後藤友明（岩手大三陸水研セ） 10：35～10：45
3. 基調講演 座長：後藤友明（岩手大三陸水研セ）
漁具屋から見た三陸海域における養殖業の特徴と防災技術について
廣野一誠（アサヤ株式会社） 10：45～11：15
4. 東日本大震災以降の三陸海域における養殖漁場環境変動 座長：神山孝史（水産機構東北水研）
 - (1) 岩手県海域 内記公明（岩手水技セ） 11：15～11：40
 - (2) 気仙沼湾海域 澁谷和明（気仙沼水試） 11：40～12：05
5. 東日本大震災後の三陸海域における養殖業の現状と課題 座長：西洞孝広（岩手水技セ）
 - (1) 「がんばる養殖」の成果と課題 濱田武士（北海学園大） 13：15～13：40
 - (2) 三陸海域の貝類養殖漁場における生産力と適正養殖量水準評価の現状と課題
神山孝史（水産機構東北水研） 13：40～14：05
- (3) 養殖対象別の現状と課題 座長：渡邊一仁（気仙沼振興）
 - 海藻養殖 西洞孝広（岩手水技セ） 14：05～14：30
 - 宮城県養殖振興プランについて～二枚貝養殖～ 石川哲郎（宮城県庁） 14：30～14：55
6. 三陸海域の養殖業における新たな展開 座長：押野明夫（気仙沼水試）
 - (1) 磯焼け問題へのユニオミクスの適用 高橋栄樹（JF みやぎ歌津支所） 15：10～15：35
 - (2) つくる人と食べる人の新しい関係 佐々木淳（綾里漁協） 15：35～16：00
7. 総合討論 16：00～16：45
座長：後藤友明（岩手大三陸水研セ）・神山孝史（水産機構東北水研）
8. 閉会 16：45

開催趣旨

三陸沿岸域は、リアス海岸の特性を生かしたワカメや貝類を対象とする養殖業が盛んに行われてきたが、2011年に発生した東日本大震災によってこれまで培われてきた生産基盤を失うこととなった。震災から5年が経過する中で、養殖業の再建による水産業の復旧・復興が順次進められ、養殖生産量は震災前の水準に近づきつつある。しかし、漁業者の減少や度重なる気象災害による漁具破損などがあり、完全な復興には至っていない。その一方で、生産～流通・販売に至る様々な過程で震災前とは異なる新たな取り組みも始まってきている。そこで本研究集会は、震災後の三陸海域における養殖業の現状と課題を共有するとともに、気象条件や漁場環境の変動に頑健で持続的な三陸海域における養殖業のありかたを展望する。